

日本英語学会第39回大会

ワークショップ

プログラム

2021年11月13日（土）9時30分から11時45分まで

オンライン開催

【ワークショップ】

第1室 「コピーに関わるメカニズムと経験的帰結」

責任者	田中祐太（中部大学）	
司会者	田中祐太（中部大学）	
発表者	菅野 悟（東京理科大学）	「付加詞からの抜き出しと主要部移動」
発表者	大塚知昇（九州大学）	「MTB、MTC と Copy Formation」
発表者	田中祐太（中部大学）	「値未付与素性に基づくコピーの不可視化」
発表者	近藤亮一（弘前大学）	「英語における that 痕跡効果と反 that 痕跡効果の歴史的変化について」

第2室 「Strong Minimalist Thesis を満たす UG の説明理論：その輪郭と概念的根拠」

責任者	小町将之（静岡大学）	
司会者	小町将之（静岡大学）	
発表者	小町将之（静岡大学）	「Strong Minimalist Thesis を満たす UG の説明
	北原久嗣（慶應義塾大学）	理論：その輪郭と概念的根拠」
	葛西宏信（北九州市立大学）	
	瀧田健介（同志社大学）	
	大滝宏一（中京大学）	
	内堀朝子（東京大学）	

第3室 「認知文法の基礎研究」

- 責任者 佐藤らな（東京大学大学院／日本学術振興会）
- 司会者 平沢慎也（慶應義塾大学）
- 発表者 佐藤らな 「Don't be that guy から考える世界の見え方」
（東京大学大学院／日本学術振興会）
- 発表者 氏家啓吾（東京大学大学院） 「コトとしての記号：認知文法から見た形態素」
萩澤大輝（神戸市外国語大学大学院）
- 発表者 萩澤大輝（神戸市外国語大学大学院） 「使用基盤モデルの哲学的検討」
- 発表者 田中太一（東京大学大学院） 「脳か人か：言うことはどのように決まるのか」
- 発表者 平沢慎也（慶應義塾大学） 「まとめに代えて：英語学から見た「認知文法の基礎研究」」

【スチューデント・ワークショップ】

第4室 「Tense and Intention」

- 責任者 Takako Nakaike (Otaru University of Commerce)
- 司会者 Sumiyo Nishiguchi (Otaru University of Commerce)
- 発表者 Takako Nakaike “Usage of Hokkaido Dialect *Saru*”
(Otaru University of Commerce)
- 発表者 Karebu Ozawa “Analysis of *Deshita* in Hokkaido Dialect of Japanese”
(Otaru University of Commerce)
- 発表者 Yozora Yoshimura “Analyzing Expressions for the Future Events”
(Otaru University of Commerce)
- 発表者 Lu Guo “Shifty Indexicals in Chinese”
(Otaru University of Commerce)

* ハンドアウトは大会前日までに学会ウェブサイトに掲載予定ですので、各自でダウンロードをお願いいたします。